

令和6年度 第3回 ひのみね支援学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年3月11日（火） 14：00～15：30

2 場 所 ひのみね支援学校 図書室

3 会 議

(1) 学校長挨拶

(2) 今年度の教育活動及び学校評価について（教頭より説明）

○学校評価総合評価について

全学部において総合評価は「A」と承認いただいた。

総務課、教務課、人権進路課（人権教育）、特別活動課、保健環境課は総合評価「A」
研究課、人権進路課（進路）、支援課、情報課は総合評価「B」と承認いただいた。

(3) 協議（委員からのご意見・ご感想）

○就業体験等について

・就業体験はどこでしているのか、また、どのような体験をしているのか質問があつた。

○学校間交流について

・交流校の児童生徒はどのような反応についての問があった。

○卒業後の進路について

・卒業後の進路先について、新しい施設等開拓し、保護者に情報提供できるようにしていただきたい。

・卒業生の保護者から話を聞く機会を持つとよい。

○防災について

・発災時の備えについては、保護者との確認をしっかりとしていただきたい。

・停電時の対応については医療機器の電源の優先順位等も検討し、学校だけでは対応できないこともあるので、自治体市町村等の方との協力体制をしっかりと取っておくことが必要である。

・災害によって対応が違ってくるので、様々な場面を想定してシミュレーションしておくと良い。

・地域の給電できる施設マップを作成できればよいと思う。

○学習評価について

・重複障がいの児童生徒さんの評価基準、評価方法は試行錯誤ということがよくわかる。どう評価し、その力を伸ばす支援にはどのようなものがあるかを発信していただきたい。

○児童生徒の実体験の機会について

・児童生徒の実態に応じて、普段体験できないことができれば良いと思う。

・近隣の学校と一緒に合同作品を仕上げるなどの取組も良いと思う。

○地域とのつながり

・エシカル活動に賛同した地域の方が学校に来ている様子を見かける。継続した取組を。

○情報化社会への対応

・スマホ等の安全な使用についての学習で、犯罪やトラブルを未然に防ぐ取組も大切である。

(4) 次年度に向けて協力いただきたいこと（学校長）

○来年度実施したい教育活動について

・大学の部活動や研究室とのコラボ

・やまなみベーカリーとのコラボ

○来年度実践したい防災の取組について

・大学等と連携した防災研修、校内避難訓練への助言、PTA防災研修の協力

○今後も継続していきたい活動について

・火災避難訓練、不審者対応訓練、絵本の読み聞かせ、作品展（ひのみねからの発信）
エシカル啓発活動

(5) その他（事務連絡）

・令和7年度の予定について